

## 東京農工大学農学部1年生等が見学に来訪されました

研究推進部 研究推進室

9月29日、東京農工大学の農学部1年生9名が「地域生態システム学実習」の一環として、また、併せて大学院生6名、引率教員3名が当部門を見学されました。

見学内容は、まず第一会議室にて、農研機構と農工研の概要などの説明がありました。

続いて、水利工学研究領域 流域管理グループの相原星哉研究員より「流域治水に関する研究－農業用施設の活用で洪水を軽減－」について説明がありました。さらに、研究推進部 推進チームの小嶋創チーム長より「農業用ため池のあれこれとため池ハザードマップ」について説明がありました。

農業用ハウスに移動して、資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループの土屋遼太研究員から「施設園芸の概要と研究－エネルギー・環境制御・施設構造－」について説明がありました。

会議室に戻り、水利工学研究領域 流域管理グループの久保田富次郎グループ長から、「農工研バーチャル潜入記－国立研究所ってどんなところ？」と題して、研究所、研究室、研究者について説明がありました。

その後、農工研所属の東京農工大学卒業生との懇親の場（昼食会）が設けられました。

午後には、水利工学研究領域 水利制御グループの福重雄太研究員から、「パイプラインの水撃圧」について説明があった後、基礎水象実験棟でパイプラインの水撃圧実験を見学しました。

風洞実験棟に移動して、水利工学研究領域 水利制御グループの人見忠良上級研究員から、「開水路ゲート操作による配水管理システム」について水理模型を用いた説明がありました。

水田圃場に移動し、自動給水栓を用いた水管理について、見学担当者から説明がありました。

会議室に戻り、施設工学研究領域 施設保全グループの渡部恵司上級研究員と研究推進部 竹村武士行政連携調整役から「農業水利施設における生物多様性の保全」について説明がありました。

最後に、見学担当から、「農工研における再生可能エネルギーの創出・利用研究」について説明がありました。

長時間の見学会となりましたが、各研究者に対して数多くの質問が投げかけられ、参加した1年生、大学院生にとって研究所、研究者などに触れる貴重な機会になったと思っています。



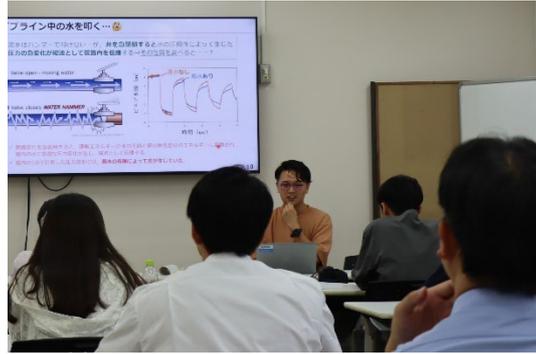
説明する相原研究員



ハウス内で説明する土屋研究員



説明する久保田主任研究員



説明する福重研究員



説明する人見上級研究員



説明する渡部上級研究員



説明する竹村行政連携調整役